

特別
企画展

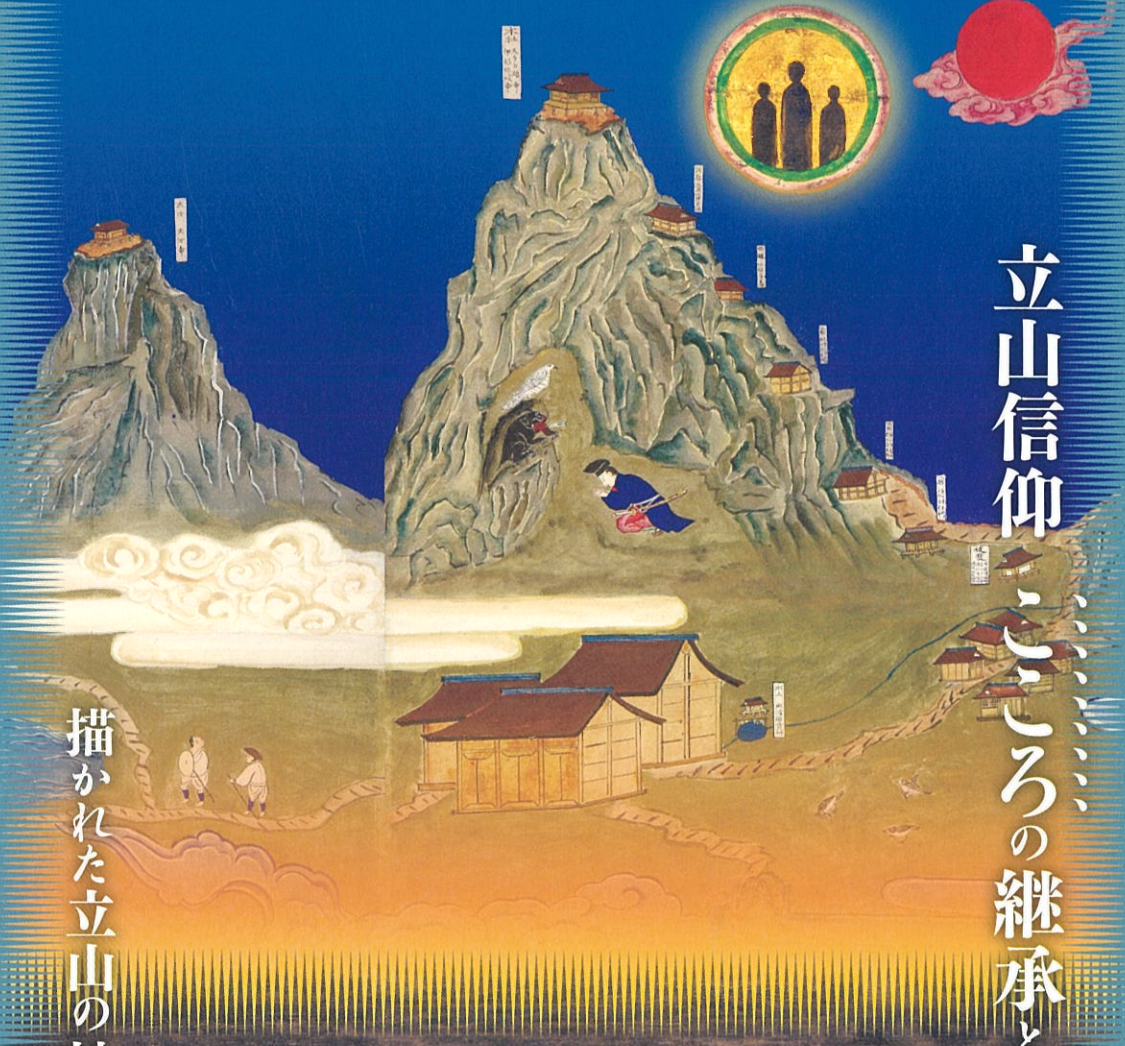
立山の明治維新

継承、
そして創造

会期 二〇一八年 九月十五日(日) ↓ 十一月四日(日)

立山信仰とこころの継承とカタチの創造……

描かれた立山の神々 仏のすがたから神のすがたへ……



地藏菩薩立像

勢至菩薩立像
— 佐野上折立観音

不動明王立像

天部形立像
— 佐野山機観音

聖観音菩薩坐像



富山県「立山博物館」

【開館時間】午前九時三〇分～午後五時まで（入館は午後四時三〇分まで）
【観覧料】「一般」二〇〇円「大学生」一〇〇円 高校生以下の児童・生徒、障がい者等の観覧料は無料です。
学校教育・社会教育で利用する児童・生徒の団体観覧料は申請により無料となります。

立山信仰、

こころの継承と

カタチの創造



不動明王立像
(龍高寺)



阿彌陀如来坐像
(龍高寺)



聖観音菩薩坐像
(立山寺)



天部形立像 伝立山懺悔観音
(林證寺)



阿彌陀如来立像
(松林寺)



帝釈天立像
(立山博物館)

明治元(1868)年3月以降、明治新政府は神仏を同じ場所で祀ることを禁止し、神道を国家公認の宗教にしようとした。これが「神仏分離」政策です。こうした動きは、各地で仏閣を破壊し仏像や仏具を散逸させる廃仏毀釈を招きました。神仏が習合した「立山権現」を信仰する芦峠寺・岩峠寺両集落も例外ではなく、宗教者たちの活動に大きな影響を与えたといわれています。このような激しい変化のなか、立山講社が結成され、やがて廻壇配札活

動に似た活動や、立山曼荼羅の絵解きも再開されています。

今回の企画展では、明治初期の「神仏分離」と「廃仏毀釈」をうけ、社会や制度が大きく変わるなか、立山を信仰する「こころ」がどのように継承されたのか。また、信仰の新たな「カタチ」を創造することが、現代の立山の信仰へとどのように受け継がれていったのか。各地に遷された仏像(下山仏)や仏具、古文書などを手がかりとして、先人の心に迫ります。

【主な展示作品】

- ・「立山兩大権現」扁額 岩峠寺雄山神社前立社壇蔵
- ・銅造天部形立像(伝立山懺悔観音) 林證寺蔵(北名古屋指定文化財)
- ・銅造阿彌陀如来懸仏残欠(伝立山安置) 林證寺蔵(北名古屋指定文化財)
- ・三国伝来阿彌陀三尊立像 一式 林證寺蔵(北名古屋)
- (銅造阿彌陀如来立像、銅造観音菩薩立像、銅造勢至菩薩立像)
- ・銅造勢至菩薩立像(伝富士折立観音) 松林寺蔵(北名古屋)
- ・銅造人体様造形物(伝立山地獄谷地藏菩薩) 松林寺蔵(北名古屋)
- ・銅造阿彌陀如来立像 松林寺蔵(北名古屋)
- ・銅造聖観音菩薩坐像 立山寺蔵(上市町) ※20年ぶり公開
- ・銅造阿彌陀如来立像・不動明王立像ならびに証文 旧善道坊蔵 ※初公開
- ・「大島延次郎家文書」個人蔵・栃木県立文書館寄託 ※初公開
- ・木造阿彌陀如来坐像・木造不動明王立像 龍高寺蔵(富山市) ※20年ぶり公開
- ・立山請来地藏尊御影 観音寺蔵(小矢部市) ※初公開

【企画展担当者解説会】

9月15日(土)、10月6日(土)・27日(土)、11月4日(日) いずれも14時からを予定。

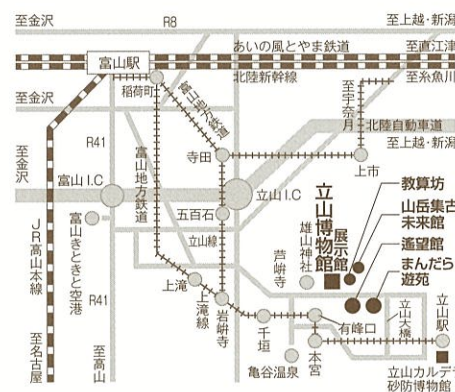
【休館日】9月18日(火)、25日(火)、10月1日(月)、9日(火)、15日(月)、22日(月)、29日(月)

主 催-富山県 [立山博物館]

共 催-北日本新聞社

後 援-北日本放送、(NKK) 富山放送局、チューリップテレビ、富山テレビ、滑川中新川地区広域情報事務組合 (Net3)

協 力-富山近代史研究会



富山県 [立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峠寺93-1
電話076-481-1216 FAX076-481-1144
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/3043.htm>

